

県アレルギー疾患電話相談の実施状況について ＜平成 30 年 6 月～平成 31 年 3 月分＞

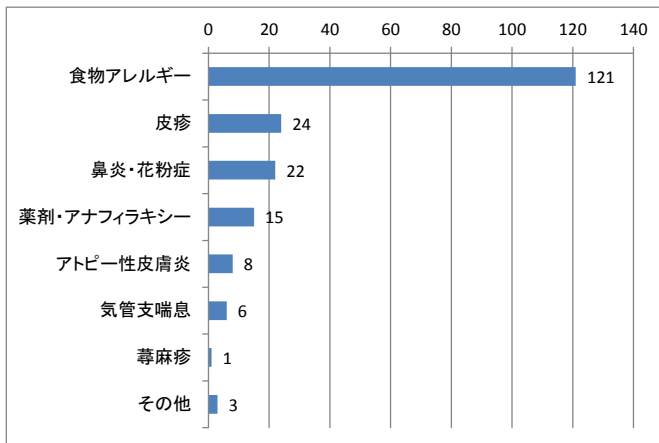
1 実施状況

- 相談開始日 平成 30 年 6 月 1 日
- 相談日 月曜日～金曜日（週 5 日）
- 開設時間 午後 1 時～ 4 時

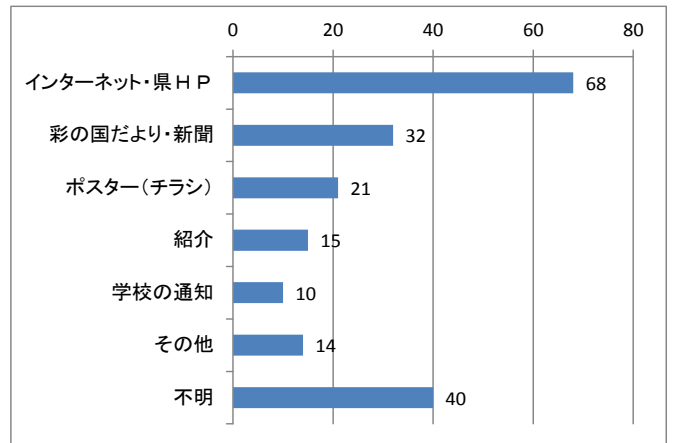
2 実施結果

- (1) 相談件数 200 件（1 月あたり平均：20.0 件）
- (2) 相談の内容等

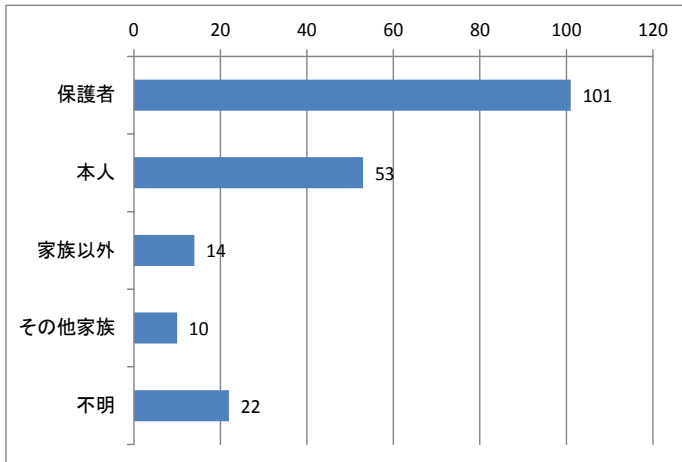
ア 疾患別相談状況（単位：件）



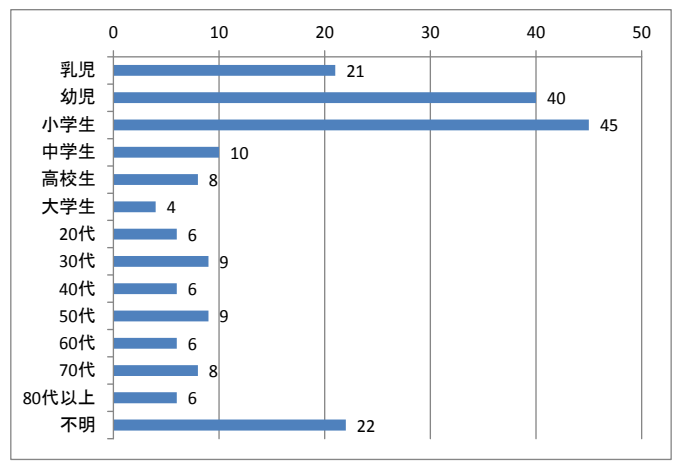
イ 相談のきっかけ（単位：件）



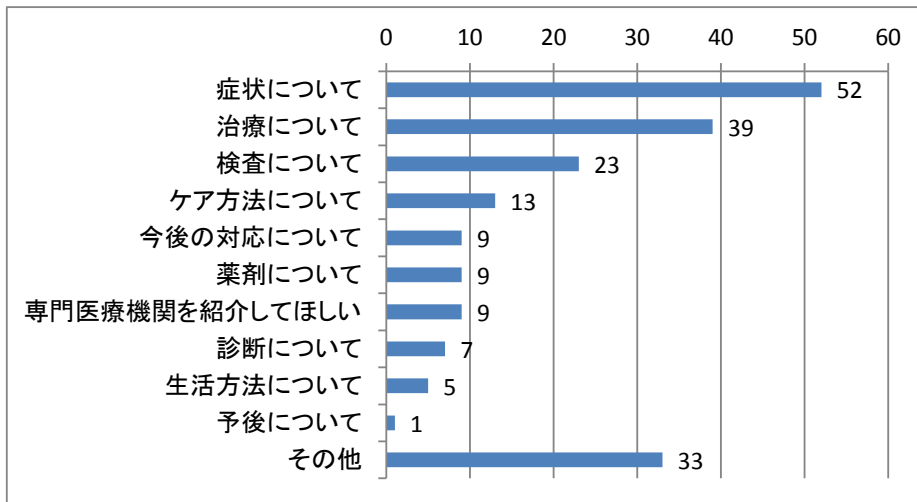
ウ 相談者の本人との関係（単位：件）



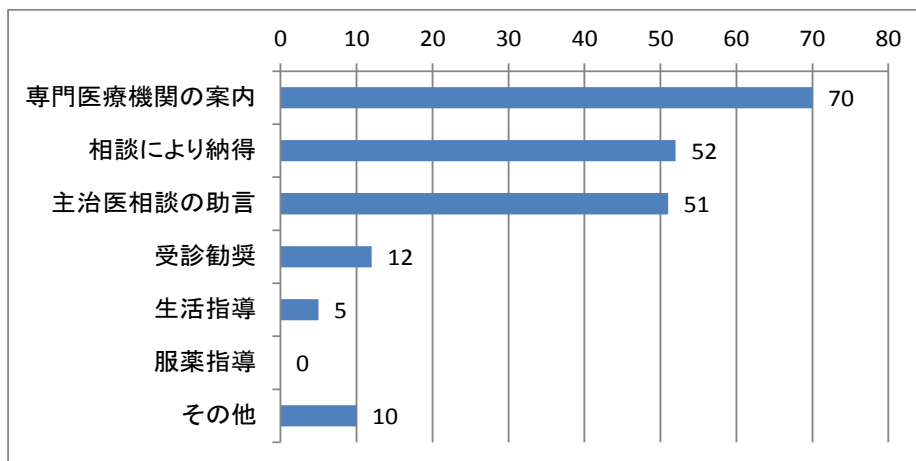
エ 患者の年代（単位：件）



オ 相談内容



カ 相談結果



<相談の例>

- * きゅうりアレルギーでエピペンを処方された。学校にエピペンを持参しているがクラスの児童に「見せて」「打ってみて」とからかわれる。学校の先生は児童が理解できるように説明してくれず、今後の不安である。(愛知県・児童の母)
- * 卵サンドで口唇、腫れが1度だけだった。その他卵料理は食べてない。保育園で完全除去する必要はあるのか?(幼児の母)
- * 花粉症であり、自宅で起床時等に症状が出る。近医の耳鼻科は専門医ではなく詳しく説明してくれない。どうすればいいのか?(本人)

<学校教師からの相談の例>

- * 運動誘発のアナフィラキシーがある生徒がマラソン大会(10Km)に出たいと言っている。医師には5Km以上走るの責任が持てないといわれている。生徒のためにどうすればいいのか?(高校教師)
- * 4月からそばアレルギーの児童が入所する。エピペンの取り扱いや職員が講習を受け他の職員へ教えることは可能か?(小学校教師)
- * ①エピペンを所持している生徒がスキー教室に行くため、スキー場での管理、注意点を知りたい。②病院まで2時間程かかるが、エピペンは2本使っていいいのか?(中学校教師)